

秋が　　きました

小川未明

青空文庫

にわの コスモスが、きれいに さきました。しずかな 秋あきの
いい ひよりです。

ピー、ピーと いう、ほそい ふえの 音おとが しました。
「ラオの すげかえやが きたから、この きせるを たのんで
おくれ。」

と、おばあさんが おつしやいました。

「はい。」

と いった、きよは うけとつて そとへ でした。

しばらく して、きよは かえつて きました。

「いくら さがしましても、ラオやさんが みつかりません。」

と いいました。

この とき、また ピイー ピイーと いう 音が おと しました。

「あんなに きこえて いるでしょう。」

と、おばあさんは おっしやいました。

「ぼくが さがして あげるよ。」

と、たけ武ちゃん は かけだしました。

たけ武ちゃんは、おうらいを あちらこちらと みまわしました。

けれど、やはり わかりません。

「ラオやさんは どこに いるのだろう、ほんとうに おかしい

な。」

と、たけ武ちゃんは ぼんやり たって いました。

空は^{そら} 青く^{あお} はれて いました。あの はこの ついた 車^{くるま}を
ひいて、おじいさんは どこを あるいて いるのかと おも
いました。

「武^{たけ}ちゃん、やきゆうを しない？」

と、ふいに 年^{とし}ちゃんが かたを たたきました。

「いま、これを うちへ おいて くるからね。」

と、武^{たけ}ちゃんは こたえました。

「おばあさん、やはり いませんよ。」

と いうと、おばあさんは、

「ああ そうかい、秋^{あき}だから 遠^{えん}方^{ぽう}の 音^{おと}が、ちかく きこえ

るのかも しれないね。」

と おつしやいました。

武^{たけ}ちゃんはいそいで はらっぱへ いくと、もう みんなが
あつまつて いました。正^{しょう}ちゃんと 良^{りょう}ちゃんは、あたらしい
ユニホームを きて いました。

「さあ、はじめようか。」

と、ピッチャーの 正^{しょう}ちゃんが プレートに たちました。そう
して、たまを にぎった 手^てを たかく あげると、みんなが
いっしよに ブー、と サイレンの まねを しました。その
こえは、ほんとうの サイレンのように とおくまで ひびき
ました。

これを ききつけて、あちらから、きみ子^こさんと かね子^こさん

が
とんで
きました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

初出：「コドモノクニ」

1938（昭和13）年10月

※表題は底本では、「秋《あき》が きました」となっています。

※初出時の表題は「秋ガ来マシタ」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

秋が きました

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>